

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	国際協力重点方針策定機能強化経費	担当部局庁	国際協力局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度開始	担当課室	国別開発協力第一課	課長 横山 正				
会計区分	一般会計	施策名	VI-1 経済協力					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第75条第1項	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成19年度から開始した国際協力重点方針の策定に関連し、予算面での裏付けを計画する上での地域別・国別ODA供与目標額の算出を強化していく必要がある。要求内容は、現地ODAタスクフォースに対して国際協力重点方針の策定作業への参画等を勧奨し、優良なプログラムの下で案件の形成が進められるよう評価・モニタリング、指導するための出張旅費。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ODAの国別・地域別の配分はそれ自身が戦略的な政策判断、外交政策を踏まえ目標額を決定する必要がある。また、ODAに関する政策を実際の案件に着実に反映させるためには、実施機関や現地に対し、数年先までを見通した案件形成の指針を与える必要がある。援助国の立場から途上国政府に改革を申し入れたり、現地ドナー間の援助協調で主導的な立場を取ろうとする際、ODA供与見込額に言及しつつ議論を行う方が、我が国の主張の影響力が高まる場合が多い。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	4	4	2	2	0.7	
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	4	4	2	2	0.7	
	執行額	2	1	0.2				
	執行率(%)	47.0%	37.6%	9.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	国際協力重点方針の策定		成果実績	回	1	1	1	1
	国際協力重点方針の策定回数		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国際協力重点方針の策定作業を推進するための出張の実施		活動実績 (当初見込み)	回	6	3	1	—
						()	()	
単位当たりコスト	出張あたりの経費 197,000円		算出根拠	実施額 ÷ 出張回数 197,000円 ÷ 1 = 197,000円				
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	外国旅費	1,263	705	事業見直しによる減額				
	雑費	1,071	0					
計	2,334	705						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	ODAタスクフォースの能力向上や援助協調における影響力の強化等、有意義な成果が得られた。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業見直しによる減額		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業見直しによる減額)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

外務省
0.2百万円



A 出張者1名
0.2百万円

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A		0.2		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					